

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	書道B(0275)	
科目基礎情報							
科目番号	0060		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	実技		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		1		
教科書/教材	書道 I (光村図書)						
担当教員	菊地 康昭,野里 紀子,米田 巧						
到達目標							
・ 書の基本を理解し、暮らしの中に生かすことができる ・ いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができる ・ 臨書を通して書の歴史と書の奥深さを理解できる ・ 書を愛好することができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	書の基本を理解し、自発的に暮らしの中に生かすことができる		書の基本を知り、暮らしの中に生かすことができる		書の基本を理解できず、暮らしの中に生かすことができない		
評価項目2	いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができる		いろいろな書体やバリエーションを駆使して作品を創作を知っている		いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができない		
評価項目3	臨書を通して書の歴史と書の奥深さを理解できる		臨書を通じた書の歴史と書の奥深さを知っている		書の歴史と書の奥深さを理解できない		
評価項目4	書を積極的に愛好することができる		書を愛好する意味を知っている		書を愛好することができない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 DP1							
教育方法等							
概要	・ 小・中学校の書写から書道への移行として、漢字と仮名の調和と平仮名、片仮名の多様な表現を身につけさせる。 ・ 漢字の成立と変遷について理解させ、古典の臨書の鑑賞と実技で理解を深める。 ・ 日常に役立つ文字を書けるようにするとともに、書を愛好する心を育てる。 【開講学期】冬学期週2時間						
授業の進め方・方法	・ 用具・用材による表現の変化や紙面構成のバリエーションの学習から、創作作品につながる構想を持たせ、作品を自由に作らせる。 ・ 臨書で古人の作品に触れ、実技を通して書の歴史を知る。 ・ 落款印や和綴じ本、写経の制作を通して、一つの作品を作り上げる達成感を体験させる。 【評価方法】提出作品の評価が 80%、用具の準備・取り組む姿勢が 20% (用具の準備が不足の場合は減点する)全体を総合して 60 点以上を合格とする。						
注意点	・ 「漢字仮名交じり文」を通して用具用材の適切な使い方、書く時の姿勢、執筆法などの重要性を理解すること。 ・ 実技だけでなく、書の歴史を知ることにより、書の奥深さを感じ取ること。 ・ 日常生活に役立ち、文字を書くことの重要性を知ること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	篆刻 1 ・篆書について				
		2週	篆刻 1 ・篆書について				
		3週	篆刻 2 ・印稿作成				
		4週	篆刻 2 ・印稿作成				
		5週	篆刻 3 ・布字				
		6週	篆刻 3 ・布字				
		7週	篆刻 4 ・刻、押印				
		8週	篆刻 4 ・刻、押印				
	4thQ	9週	創作 1 ・一字書				
		10週	創作 1 ・一字書				
		11週	創作 2 ・漢字かな交じり文				
		12週	創作 2 ・漢字かな交じり文				
		13週	実用書 2 書というもの				
		14週	実用書 2 書というもの				
		15週	・一年間の書道の授業を振り返って				
		16週	・一年間の書道の授業を振り返って				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		提出作品	用具の準備・取り組む姿勢	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	